

一級自動車工学科・自動車整備科 2024年度

授業計画

時 期	2年A巡	単元	実習	教科名	CVT脱着		
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	バインダー 個人工具		発行日	2024年4月1日	
総時限	18時限				教科担 当	鍋谷	● ■
						淡路	● ■

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

自動車販売会社でCVT、A / T 等トランスミッションを自動車整備士として脱着した実務経験のある教員により、作業時における注意事項や安全確実な作業について指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- 1) ESMの閲覧方法の習得
- 2) 実際に作業をしてみて、作業方法、危険事項等を学ぶ
- 3) 作業手順を自ら作成する
- 4) 災害に至らないよう安全作業が出来る
- 5) ストールテストについて学ぶ

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）

- ・ESMを閲覧、教員からのアドバイスをもとに安全作業が出来るようになる。
- ・重整備時の整理整頓の大切さを実感する。
- ・部品脱着には多くのプロセスを踏まないといけない事を学ぶ。
- ・重作業での安全意識の徹底を身に着ける。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。

合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格

評価の種類：『優』『良』『可』（履修）、『未』（未履修）の4段階で評価

評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』

整備科60点未満、工学科70点未満…『未』（未履修）

再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』

<出題試験項目>

- ① CVT脱着作業 取り付け（40点） 取り外し（20点）
- ② 完成検査（20点）
- ③ 筆記：脱着作業、ストールテスト（20点）

5. 準備学習

2級シャシP61のストールテストの項目の読み込み

※ ■ ⇒ 日産資格保持者

※ ● ⇒ 実務経験がある教員

一級自動車工学科・自動車整備科

2024年度 授業計画

時 期	2年A巡	単元	実習	教科名	CVT脱着	
5. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）					6. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	目的、導入教育、CVTについての解説と、個人工具準備				実習ノート	学生数
					サークルチェック表	適量
2	取り外し作業				新聞紙	適量
					コンテナ	20
3	取り外し作業				18mmソケット	10
					16mmソケット	10
4	取り外し作業				ドライブプレートガイド	10
					トルクレンチ（プリセット）	10
5	取り外し作業				パール	10
					30mmソケット	10
6	取り外し作業				ウォーターポンププライヤ	10
					ステンレスバット	10
7	取り外し作業				マスキングテープ	適量
					オイル保管用缶	20 ℓ
8	CVT単体脱着練習				LLC保管用ポリタンク	20 ℓ
					S字フック大	20
9	CVT単体脱着練習				十字レンチ	10
					ノートPC	10
10	CVT単体脱着実技試験					
					消耗補修部品	
11	CVT単体脱着実技試験 ※試験終了後に各部オイルシール交換作業				デフサイドシール	20
					オイルポンプシール	10
12	ストールテスト体験				ドライブシャフトダストシール	20
					割ピン	適量
13	取り付け作業					
14	取り付け作業					
15	取り付け作業					
16	取り付け作業					
17	取り付け作業					
18	車両清掃、筆記試験					

一級自動車工学科・自動車整備科			2024年度		授業計画	
時 期	A巡	単 元	実 習	教科名	CVT脱着	
7. 安全（KYのため必ず授業内で説明）						
番号	作業名		遵守事項		災害事例	チェック
1	車両リフトアップ		車両の上げ下げ時の声出しの徹底 車両の荷重バランスの確認		車両落下による重傷事故	
2	リフトアップしての作業時		保護メガネを着用する事		眼球の負傷	
3	CVT脱着作業時		①CVTの滑落防止の為、ラッシングで固定 ②滑落時は、無理に支えようとせず、 身を守るため、逃げる事 ③1人での作業の禁止		重量物落下による重傷事故	
4	各種作業時		必ず保護手袋を使用する事		手の裂傷	
5	床の清掃		オイルなどが床に落ちたら、必ず清掃を 実施する。		転倒による重傷事故	
6	各部オイルシール交換		環境事故の対策として、作業後は新しい部品に 付け替える事とする。		運転時のオイル漏れ	
7	各冷却水ホース類の交換		同上		運転時の冷却水漏れ	
8	油脂類の漏れ確認		フリーローラーでの試験走行を必ず行う		油脂類の漏れ防止	
8. 授業レイアウト（写真の貼り付けも可）						
実習場				座学教室		